

本時のねらい

提案書の書き方を学び、SDGs で自分たちにできることをまとめていく。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

Word を使い、文字数のカウントや誤字脱字のチェックや挿入等、デジタルの良さを生かし、提案書を書く。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ ドリルパーク
- ・ メモ
- ・ まなビューア
- ・ Word
- ・ FEfile

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<p>【帯活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2人スピーチ ○ 漢字の学習（間違えやすいポイント等は全員で共有） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に iPad にメモをしていたものをもとに発表する。 ・ 学習した内容で、ドリルパーク内の漢字テストをする。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案書の構成や決まりの説明を、デジタル教科書を用いて学習する。 ○ 前時に話し合った SDGs について、学習した内容をもとに自分の提案書を Word を使って作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まなビューア（デジタル教科書）を活用し、太字や右端寄りなど提案書の決まりなどを視覚的にとらえる。 ・ 文字数のカウントや、誤字脱字チェック等、Word の機能を活用しながら、作成する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りを行う。 自分で作成した Word 文書を見直す Word を保存する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ FE file に保存し、いつでも取り出せるようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

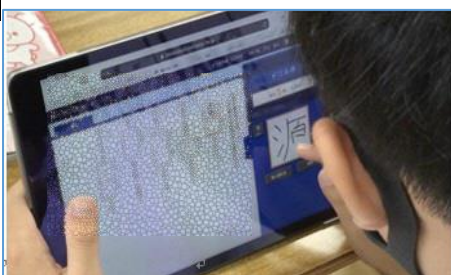


写真1：ドリルパークで漢字テストを実施している場面

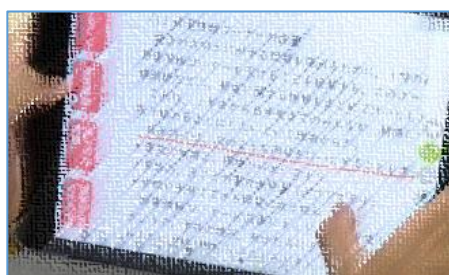


写真2：提案書の書き方について重要だと思ったところをまなビューア（デジタル教科書）に線を引きしている場面

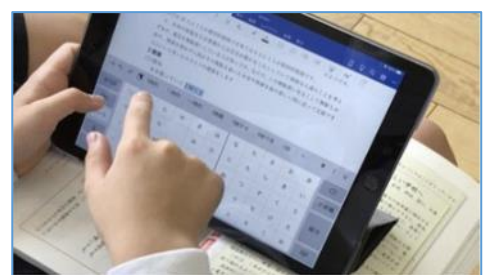


写真3：Word で提案書を作成している場面

児童生徒の反応や変容

ドリルパークは漢字テストの余った時間等で復習に使うこともできるので、子どもたちは時間を有効に使って漢字テストをしていた。

まなビューアでは、デジタル教科書にメモを書いたり線を引いたりすることで、内容を理解しようとする児童の様子があった。

Word での提案書の作成ではノートに書くよりもやり直しが簡単にできるので、後で見直したときの訂正に有効だった。また、字を書くことが苦手な児童にとっても、Word での文字入力は間違いが少なく、普段よりもたくさんの文字数を書くことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ドリルパークを活用すれば、何度も簡単にテストができ、自分が理解している漢字、まだ覚えていない漢字がすぐにわかる。

また、書いた漢字の正答判定の基準を変えることができるので、とめ、はね、はらいなどを厳しく採点することも可能になる。

Word は文字数のカウントや字の修正が容易にできたり、文字を書くのが苦手な児童にとっても意欲につながったり、これまでの授業では時間がかかりすぎていたこともスムーズに取り組むことができた。

単元や言語活動の種類によって、iPad を使うのか、それ以外の方法を取るのか、見極めたうえで、今後も効果的な活用を目指していきたい。